

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和元年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	(経済部)農政課・グリーンセンター／農業委員会事務局

●施策の基本方針(目標)

歴史と伝統を誇る花き・植木や野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みを作ることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	45.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	47.3	48.4	46.1	47.4			
指標②	名称	市内総生産額(農業)			単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(令和2年度)		現状値	1,306(平成24年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	1,392(平成26年)	579(平成27年度)	579(平成27年度)	1,516(平成29年度)			
指標③	名称	市民農園区画数			単位	区画	指標の種別	成果
	目標値	572(令和2年度)		現状値	492(平成26年度)		達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値	579	551	724	741			
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)		
	実績値							

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度予算額
事業額	事業費	349,027	442,416	638,303	488,147	380,138
	概算人件費	176,884	216,060	182,569	180,910	183,517
	総事業費	525,911	658,476	820,872	669,057	563,655

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 49	単位施策② 51	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			50.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和元年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度の総評価	令和2年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
① 都市農業の振興									
34100101	川口緑化センター指定管理者管理運営費	経済部 農政課	125,336 6,560	123,513 1,560	131,645 2,054	138,012 1,580	143,421 1,975	48	現状維持で実施
34100301	都市農業対策事業	経済部 農政課	65 2,050	161 3,666	128 1,975	0 1,185	71 1,185	52	縮小して実施
34100401	川口農業塾開催事業	経済部 農政課	1,559 1,886	1,238 2,184	1,352 3,160	1,400 2,370	702 3,950	42	縮小して実施
34100451	開園50周年関連事業 (平成29年度をもって完了)	経済部 グリーンセンター	— —	78,403 33,618	— —	— —	— —	—	—
34100601	農地基本台帳管理費	農業委員会 事務局	1,003 1,230	1,054 1,638	980 3,792	1,463 3,555	2,011 3,555	52	現状維持で実施
34100701	農政関係広報事業	農業委員会 事務局	69 1,148	76 1,326	99 1,343	99 1,738	132 1,738	50	現状維持で実施
34100802	農政審議会経費	経済部 農政課	89 1,230	325 3,120	692 2,370	396 2,607	664 2,212	48	現状維持で実施
34100901	農業経営改善事業	経済部 農政課	0 3,690	34 1,950	9 1,975	0 1,975	71 2,370	39	現状維持で実施
34101002	緑化産業活性化事業	経済部 農政課	1,230 5,740	1,630 3,120	1,900 3,555	1,900 3,555	2,000 9,480	53	現状維持で実施
34101101	園芸振興事業	経済部 農政課	4,859 2,460	5,305 3,120	5,308 1,975	5,476 1,580	5,700 1,975	55	現状維持で実施
34101202	農業改良普及事業	経済部 農政課	5,186 3,280	5,074 5,850	5,292 5,925	3,166 5,530	5,600 6,715	53	現状維持で実施
34101301	植物取引センター指定管理者管理運営費	経済部 農政課	17,895 2,132	17,780 702	19,315 1,501	19,089 1,343	19,871 1,975	48	現状維持で実施
34101401	特産園芸品展示即売会開催事業 (平成28年度をもって廃止)	経済部 農政課	2,317 1,640	— —	— —	— —	— —	—	—
34101501	第8回世界盆栽大会出展事業 (平成29年度をもって完了)	経済部 農政課	1,760 2,870	2,095 1,950	— —	— —	— —	—	—
34101601	農作物生産等実態調査事業	農業委員会 事務局	435 1,066	420 858	398 1,580	382 1,738	436 1,738	44	現状維持で実施
34101702	農業施設設置助成事業	経済部 農政課	0 2,050	0 1,170	0 1,975	0 1,580	750 1,185	35	現状維持で実施
34101801	農業金融対策事業	経済部 農政課	277 2,460	235 1,170	122 1,580	13 1,185	40 1,580	54	現状維持で実施
34101901	グリーンセンター施設運営費	経済部 グリーンセンター	22,453 1,722	23,583 1,638	24,590 1,659	25,775 1,659	26,666 1,659	54	現状維持で実施
34102001	イベント広報事業	経済部 グリーンセンター	15,145 32,800	15,563 31,200	16,886 31,600	15,517 31,600	2,091 31,600	54	効率化して実施
34102101	わんぱく広場遊園事業	経済部 グリーンセンター	37,989 9,850	37,935 11,700	61,142 11,850	64,726 11,850	41,354 11,850	44	現状維持で実施
34102201	植物園花木展示事業	経済部 グリーンセンター	78,126 41,000	75,770 39,000	83,537 39,500	85,144 39,500	74,472 39,500	50	縮小して実施
34102301	花き園芸振興事業	経済部 グリーンセンター	20,326 41,000	23,408 39,000	26,712 39,500	23,730 39,500	24,514 39,500	48	拡充して実施

単位施策名 ① 都市農業の振興									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34102403	グリーンセンター 施設維持補修費	経済部 グリーンセンター	—	18,516	248,656	85,731	16,000	56	縮小して 実施
			—	15,600	15,800	15,800	7,900		

単位施策名 ② 都市農地の保全									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (予算額)	令和 元年度 の 総評価	令和 2年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34200101	農業体験事業	経済部 農政課	54	34	54	61	72	48	現状維持 で実施
			2,050	2,730	1,580	1,185	1,185		
34200201	鳥獣保護緑地保全対策事業 (令和元年度から自然保護対策室、鳥獣 捕獲等許可関連事業に統合)	経済部 農政課	60	60	60	—	—	—	—
			1,230	1,170	790	—	—		
34200302	地域農業活性化事業	経済部 農政課	12,794	10,204	9,426	16,067	13,500	54	縮小して 実施
			5,740	7,020	5,530	8,295	8,690		

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100101	事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	259-9020	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口緑化センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	川口緑化センターの利用者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。	指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。 ・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等) ・川口緑化センターの利用許可に関する業務 ・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、園芸相談及び展示会等の実施 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売	項目	実績
		春・秋の安行花植木まつり	各1 回
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。		
		第22回春の園芸フェスタ	1 回
		第17回緑の学会・ふれあい講演会	1 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況				
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別			
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	03細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	123,513	131,645	138,012	143,421	143,421			
決算額(B)=(C)+(D)	123,513	131,645	138,012					
財源※	特定財源(C)	7,796	7,327	6,927	6,574			
	一般財源(D)	115,717	124,318	131,085	136,847			
概算人件費(E)	1,560	2,054	1,580	1,975	1,975			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.26	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	125,073	133,699	139,592	145,396	145,396			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、令和元年度に策定した個別施設計画に沿った保全計画及び市営植物取引センターも含めた一体的な周辺整備計画を検討していく必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100301	事業名称	都市農業対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	都市農業振興地方公共団体連絡調整会議	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市農地の保全と都市農業の振興を推進する。	都市農業振興地方公共団体連絡調整会議への参画。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	都市農業振興地方公共団体連絡調整会議へ参画し、他の地方公共団体と都市農業に関する情報交換を行った。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	参画団体との都市農業関連施策・イベントに関する意見及び情報交換を通し、都市農業の振興促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	01細々目	都市農業対策事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	250	200		56		71		71		
決算額(B)=(C)+(D)	161	128		0		0		0		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	161		128		71		71		
概算人件費(E)	3,666	1,975		1,185		1,185		1,185		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.47	0.00	0.25	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,827	2,103		1,185		1,256		1,256		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	参画団体との都市農業関連施策・イベントに関する意見及び情報交換に務める。	2年度 縮小して実施 3年度 縮小して実施 4年度 縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100401	事業名称	川口農業塾開催事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	259-9020	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年度 ~ 令和 - 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 年間を通して営農実践研修を実施する。(研修用農地100㎡を1区画として受講生1人が耕作する)	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 1年を通じて農作物を育てることから、受講生は1月から12月を研修期間とし、農業技術指導員によるカリキュラムを通じて営農実践研修を行った。	主な実績	
		項目	実績 単位
		修了生数	14 人
		見沼たんぼ就農予備校の入学者数	0 人
		サポーター登録者数	0 人
事業の成果 【定性的評価】	受講生16人中14人がカリキュラムを修了した。修了生は実家の手伝い、市民農園及び家庭菜園で、今後も農とのかかわりを検討している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口農業塾修了生数			指標・目標値の説明(算定式)	受講生の100%修了を目指す				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	21		13		16				
	実績値・達成状況	16	未達成	13	達成	14	未達成			
指標②	名称	見沼たんぼ就農予備校への入学者数			指標・目標値の説明(算定式)	就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	5		5		5				
	実績値・達成状況	4	未達成	1	未達成	0	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	02細々目	川口農業塾開催事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,947	1,387		1,766		702		702		
決算額(B)=(C)+(D)	1,238	1,352		1,400						
財源※	特定財源(C)	481		592		0		0		
	一般財源(D)	757		760		1,400		702		
概算人件費(E)	2,184		3,160		2,370		3,950		3,950	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.28	0.00	0.40	0.00	0.30	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,422		4,512		3,770		4,652		4,652	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
42 /60	川口農業塾は就農を真剣に考えている者を対象に事業を実施しているが、就農者の育成に直結した成果があげられていない。また、令和元年に10期を終え、これまでの実績等を踏まえ今後のあり方について検討する必要がある。このことから、令和2年度は事業を休止とし、農地の管理は引き続き行う。	2年度 縮小して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100601	事業名称	農地基本台帳管理費	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	271-9214	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農地法第52条に備え、整備するもの

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等のうち農地所有者	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地関係事務及び証明書発行事務の効率化を図る。	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動・更新処理を行う。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報のデータ異動・更新処理を行った。	項目	実績 単位
		農地基本台帳整備に係る調査の調査表配付	1,170 件
		市内農地面積	421.80 ha
		市内農地筆数	12,463 筆
事業の成果 【定性的評価】	農地基本台帳システムを最新データに更新し、農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務を適正に行うことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	02細々目	農地基本台帳管理費			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	1,055	1,012	1,583	2,011	2,011					
決算額(B)=(C)+(D)	1,054	980	1,463							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	1,054	980	1,463	2,011					
概算人件費(E)	1,638	3,792	3,555	3,555	3,555					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.48	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,692	4,772	5,018	5,566	5,566					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	農地基本台帳整備に係る調査をはじめとする農地関係事務及び証明書発行事務の執行にあたり、当該システムの情報は必要であるため、引き続き、情報の更新及び整理を確実に行う必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100701	事業名称	農政関係広報事業	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	271-9214	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 51 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内の農政及び農地に関する情報について、各農家及び関係機関に提供するとともに、市民の農の理解を促進する。	農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	令和元年度は、2回発行した。8月号は、川口農業ブランド認定式において8つの農作物が推奨認定されたこと、農地転用許可等の権限が埼玉県から移譲された記事を掲載し、1月号は、農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集の記事を掲載し、農家等に情報提供した。	項目	実績	単位
		「川口の農業だより」第90号(元年8月号)	2,000	部
		「川口の農業だより」第91号(2年1月号)	2,000	部
事業の成果 【定性的評価】	各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	04細々目	農政関係広報事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	98	130		132		132		132		
決算額(B)=(C)+(D)	76	99		99						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	76		99		99		132		
概算人件費(E)	1,326		1,343		1,738		1,738		1,738	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,402		1,442		1,837		1,870		1,870	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	各農家に必要な情報提供の手段として必要であり、市民の農の理解促進のため、今後も掲載内容の充実を図る必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100802	事業名称	農政審議会経費	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	259-9020	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。	農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・農政審議会の開催 ・先進地視察(日光市役所、道の駅うつのみやろまんちっく村)	項目	実績
		審議会開催回数(先進地視察含む)	4 回
事業の成果 【定性的評価】	平成30年度に構築された川口農業ブランド制度の第三者評価組織としての意見聴取、農業者へのヒアリング及び先進地視察等を行い、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興施策を展開した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	002細目	01細々目	農政審議会経費					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	451	931	907	664	664							
決算額(B)=(C)+(D)	325	692	396									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	325	692	396	664							
概算人件費(E)	3,120	2,370	2,607	2,212	2,212							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.30	0.00	0.33	0.00	0.28	0.00	0.28	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,445	3,062	3,003	2,876	2,876							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	川口農業ブランド制度の運用は川口農業ブランド推進協議会が主体となって進めていくが、当該ブランド制度の精査・拡充をはじめとした農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図るため、引き続き農政審議会において必要な調査・審議等を行う。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34100901	事業名称	農業経営改善事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定農業者(農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画が市の認定を受けた農業者及び法人)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業経営基盤強化促進法に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成及び支援する。	埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・農業経営改善計画の認定事務	項目	実績
		認定された認定農業者数(再認定含む)	4
事業の成果 【定性的評価】	自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	003細目	01細々目	農業経営改善事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	72	72	71	71	71					
決算額(B)=(C)+(D)	34	9	0	0	0					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	34	9	0	71					
概算人件費(E)	1,950	1,975	1,975	2,370	2,370					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,984	1,984	1,975	2,441	2,441					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	5 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	8 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
39 /60	認定後のアフターフォロー及び支援策の拡充並びに農業経営改善のために効果的な研修会の実施について検討する必要がある。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101002	事業名称	緑化産業活性化事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	63	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、緑化産業活性化事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民等及び農業関係団体の交流を通して緑化に対する理解を深めるとともに、農業関係団体の自主事業を支援することにより、地場産業である緑化産業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンロード・ウォーキング開催事業に対する支援 ・みどりの地球号in安行開催事業に対する支援 ・植木・盆栽等の輸出入対策に関わる促進事業に対する支援 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績
		交付件数	2
事業の成果 【定性的評価】	農業関係団体の積極的な活動につながり、地場産業である緑化産業の活性化に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	グリーンロード・ウォーキング参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	700		600		600		600		
指標②	名称	みどりの地球号in安行来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	380 未達成		617 達成		668 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	01細々目	緑化産業活性化事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	1,630	2,000		2,000		2,000		2,000		
決算額(B)=(C)+(D)	1,630	1,900		1,900						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,630		1,900		1,900		2,000		
概算人件費(E)	3,120		3,555		3,555		9,480		9,480	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.45	0.00	0.45	0.00	1.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,750		5,455		5,455		11,480		11,480	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	ニーズに合った事業内容を検討する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101101	事業名称	園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	産地間競争の激化による価格競争や生産・流通機構の変化等に伴う厳しい農業経営環境に対応するため、農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援 並木元町公園花植木市開催事業に対する支援 展示・即売会参加事業に対する支援 展覧会等参加事業に対する支援 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		交付件数	21 件
事業の成果 【定性的評価】	特産園芸品の生産及び販売体制の近代化並びに市場の拡張及び地場産業の振興に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	安行の花・緑と物産展示即売会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	19,317 未達成		19,743 未達成		17,556 未達成				
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	1,935 未達成		8,769 達成		7,346 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	02細々目	園芸振興事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	5,400	5,400		5,700		5,700		5,700		
決算額(B)=(C)+(D)	5,305	5,308		5,476						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,305	5,308		5,476		5,700			
概算人件費(E)	3,120	1,975		1,580		1,975		1,975		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.25	0.00	0.20	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,425	7,283		7,056		7,675		7,675		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
55 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101202	事業名称	農業改良普及事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業関係団体	市民等、農業者及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展に伴う生産環境の変化や急速に発達した情報化時代に対応するため、農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市花の文化展開催事業に対する支援 特産農業推奨事業に対する支援 農業後継者育成事業に対する支援 農産物産地化モデル事業に対する支援 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業者及び農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績
		交付件数	4 件
事業の成果 【定性的評価】	関係機関及び農業関係団体との緊密な連携の下に、農業経営の安定及び発展並びに後継者の育成を図るとともに、特産園芸の近代化に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市花の文化展来場者数			指標・目標値の 説明(算定式)	過去の実績から考慮				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況	3,102	達成	3,353	達成	0	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	03細々目	農業改良普及事業					
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
予算額(A)	5,200	5,662	5,800	5,600	5,600							
決算額(B)=(C)+(D)	5,074	5,292	3,166									
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0							
	一般財源(D)	5,074	5,292	3,166	5,600							
概算人件費(E)	5,850	5,925	5,530	6,715	6,715							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.75	0.00	0.75	0.00	0.70	0.00	0.85	0.00	0.85	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	10,924	11,217	8,696	12,315	12,315							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	ニーズに合った事業内容の検討並びに農業者及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101301	事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	259-9020	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市営植物取引センター設置及び管理条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	農業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。	指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。 ・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	指定管理者による管理運営 ・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可 ・施設の維持管理及び軽易な修繕	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	05細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費					
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	17,780	19,315		19,089		19,871	19,871					
決算額(B)=(C)+(D)	17,780	19,315		19,089								
財源※	特定財源(C)	5,684	5,620		5,846		5,882					
	一般財源(D)	12,096	13,695		13,243		13,989					
概算人件費(E)	702	1,501		1,343		1,975	1,975					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.19	0.00	0.17	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	18,482		20,816		20,432		21,846	21,846				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口緑化センターも含めた一体的な周辺整備計画を検討していく必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101601	事業名称	農作物生産等実態調査事業	事業区分	通常事業
担当	農業委員会事務局	農業委員会事務局	問い合わせ先	271-9214	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市内に住所を有する農業者	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。	農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものを基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料としても活用する。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	令和元年8月に行われた農地基本台帳整備に係る調査に併せ、30年生産分の農作物生産等実態調査表を各農家に配付し、回収した調査表を基に集計表を作成した。	項目	実績	単位
		農作物生産等実態調査 調査表配付	1,170	件
		農作物生産等実態調査 調査表回収	1,111	件
		農作物生産等実態調査 調査表回答	364	件
事業の成果 【定性的評価】	市内営農者の農業生産の実態について調査を実施し、集計することにより、農業行政の基礎資料とした。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	01細々目	農作物生産等実態調査事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	521	495		456		436	436			
決算額(B)=(C)+(D)	420	398		382						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	420	398		382		436			
概算人件費(E)	858	1,580		1,738		1,738	1,738			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.11	0.00	0.20	0.00	0.22	0.00	0.22	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,278		1,978		2,120		2,174	2,174		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	昨年同様に記名式の回答を求め、農地基本台帳整備に係る調査表と一緒に綴じて配布したことで、回収率は維持したが、回答率の向上にはつながらなかった。回答率向上のため周知方法を検討する必要がある。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101702	事業名称	農業施設設置助成事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱、農業施設設置助成事業助成金交付基準

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、農業施設の設置によって、経営の改善及び近代化の推進など集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	申請がなかったため未実施	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	未実施のため評価なし		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	04細々目	農業施設設置助成事業			
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
予算額(A)	750	750	750	750	750					
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	0	0	0					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	0	0	0	750					
概算人件費(E)	1,170	1,975	1,580	1,185	1,185					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.25	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,170	1,975	1,580	1,935	1,935					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
35 /60	設備投資により農業経営の改善及び近代化を図ろうとする農業者の負担軽減のために必要な事業であるが、平成21年度以降申請がないため、周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101801	事業名称	農業金融対策事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等	埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要綱、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱、川口市農業経営基盤強化資金利子助成事業実施要綱等				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。	農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給する。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	既存借入分の利子に対して補給を行った。	項目	実績
		農業近代化資金利子補給件数	1
事業の成果 【定性的評価】	農業者等の経済的負担が軽減され、経営の安定に資するとともに、農業意欲の向上を図った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	農業近代化資金利子補給件数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績及び景気動向を考慮	
	単位	件	指標の種別	成果			
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況	3	未達成	2	未達成		1
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)		
	単位		指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	05細々目	農業金融対策事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	287	189		138		40		40		
決算額(B)=(C)+(D)	235	122		13						
財源※	特定財源(C)	66	46		0		0			
	一般財源(D)	169	76		13		40			
概算人件費(E)	1,170	1,580		1,185		1,580		1,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,405	1,702		1,198		1,620		1,620		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	農業者の高齢化等により設備投資が抑制されているが、今後はニーズを把握し、事業活用・必要性を含め検討する。	2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34101901	事業名称	グリーンセンター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること。	入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ。		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託、自動券売機の借上業務の実施、グリーンセンターの運営に必要な消耗品等の購入。	項目	実績	単位
		令和元年度入園者数	375,179	人
事業の成果 【定性的評価】	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	01細々目	グリーンセンター施設運営費	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	24,124	24,606	25,955	26,666	27,405			
決算額(B)=(C)+(D)	23,583	24,590	25,775					
財源※	特定財源(C)	9,088	8,096	7,223	13,340			
	一般財源(D)	14,495	16,494	18,552	13,326			
概算人件費(E)	1,638	1,659	1,659	1,659	1,659			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.21	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,221	26,249	27,434	28,325	29,064			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	売札業務委託に係る人件費が年々上昇しており、今後、予算の削減に伴う人員削減等によるサービス、安全性の低下が懸念される。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34102001	事業名称	イベント広報事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催 ・園芸教室 ・林間教室 		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント開催 桜草展・スプリングフェア・夜の植物園・洋蘭展・椿展等 ● 園芸教室 コンテナガーデン・ブルーベリーの育て方・盆栽等 ● 林間教室 竹工作・木材工作・木の実工作等 	項目	実績	単位
		イベント開催	28	回
		園芸教室	19	回
林間教室	31	回		
事業の成果【定性的評価】	入園者に憩いの場や家族等とのふれあいの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。園芸・林間教室では、多種多様な植物等への興味や関心を促し技術や知識を広めることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	02細々目	イベント広報事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度				
予算額(A)	15,730	16,943		16,559	2,091	2,091				
決算額(B)=(C)+(D)	15,563	16,886		15,517						
財源※	特定財源(C)	7,585	6,314		7,596	1,794				
	一般財源(D)	7,978	10,572		7,921	297				
概算人件費(E)	31,200	31,600		31,600	31,600	31,600				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	46,763		48,486		47,117	33,691		33,691		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	課題: 子どもを含めた若者世代が、植物に興味や関心を持てるようなイベントを開催していく。方策: 植物を楽しく見せ学ぶことができる等、植物園本来の参加型イベントの開催。市民(入園者)ニーズを的確に捉えたイベントの検討。	2年度 効率化して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34102101	事業名称	わんぱく広場遊園事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う	ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	わんぱく広場の施設修繕 ミニ鉄道の保守運行管理 夢ふうせん(大型複合遊具)の塗装工事	項目	実績 単位
		ミニ鉄道利用者数	137,921 人
事業の成果 【定性的評価】	安全・安心な施設維持及び管理運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	03細々目	わんぱく広場遊園事業			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	38,450	61,554		65,263		41,354		41,354		
決算額(B)=(C)+(D)	37,935	61,142		64,726						
財源※	特定財源(C)	32,076	29,889		26,115		36,896			
	一般財源(D)	5,859	31,253		38,611		4,458			
概算人件費(E)	11,700	11,850		11,850		11,850		11,850		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	49,635	72,992		76,576		53,204		53,204		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	施設等の老朽化が顕著であり、小規模修繕等では対応できないことが多くなってきている。人気施設であるミニ鉄道は、今後、大規模修繕が必要になることから、活性化基本計画の受け、整備・改修時期を検討し、適正な更新・修繕を実施していく。	2年度	現状維持で実施
		3年度	拡充して実施
		4年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34102201	事業名称	植物園花木展示事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。	花木の維持管理及び植物の栽培 鳥類及び魚類の飼育 花木及び植物の展示 園芸、造園及び緑化等の相談 委託業務の指導、監督		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	園内の樹木・芝生・花壇等の管理及び植物展示等。病害虫の駆除や鳥類の飼育等。園芸相談やガイドツアーの実施。樹木管理委託等の業務設計・指導・監督等。基本計画策定業務における検討委員会の開催やパブリックコメントの実施等。	項目	実績	単位
		園芸相談件数	254	件
ガイドツアー参加者数	118	人		
事業の成果 【定性的評価】	入園者へ四季折々季節ごとの植物展示や適切な植栽管理等を行うことができ、緑化意識の高揚及び緑化知識の向上が図れた。再整備事業の骨格となる基本計画の策定に目途が立った。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	04細々目	植物園花木展示事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	77,715	84,399	85,907	74,472	74,472			
決算額(B)=(C)+(D)	75,770	83,537	85,144					
財源※	特定財源(C)	24,251	21,596	26,845	16,263			
	一般財源(D)	51,519	61,941	58,299	58,209			
概算人件費(E)	39,000	39,500	39,500	39,500	39,500			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	114,770	123,037	124,644	113,972	113,972			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	入園者に対して、更なる緑化啓発の向上を図り、工夫を凝らしたイベント企画・展示方法を継続的に行う必要がある。また、策定された基本計画に基づき、入園者の安全性や利便性を確保し、適切でスピード感をもったエリア毎の整備工事を早期に進める必要がある。	2年度 縮小して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34102301	事業名称	花き園芸振興事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	農業の振興並びに入園者、市民の緑化意識の高揚を図る	園芸植物の育成、展示及び品種保存 園芸振興施設、大温室、観賞温室の維持管理 園芸技術研修・実習、体験学習の受入れ、指導 委託業務の指導、監督		
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	熱帯植物、ラン類、椿、サクラソウ等園芸植物の育成、展示 寄託植物育成、保存、盆栽貸出し 園芸植物の展示会、催事実施、講師として園芸教室実施 博物館実習生、職業体験実習生受け入れ、指導 盆栽、園芸振興施設、植物管理委託等の設計、指導、監督	項目	実績	単位
		博物館実習生、職業体験実習生受け入れ	8	人
園芸教室講師	7	回		
事業の成果 【定性的評価】	園芸植物に関する展示、催事、園芸教室、実習を実施したことにより、知識並びに技術の普及、啓発、入園者の緑化意識の高揚が図れた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	05細々目	花き園芸振興事業	
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
予算額(A)	23,428	26,894	24,568	24,514	24,514			
決算額(B)=(C)+(D)	23,408	26,712	23,730					
財源※	特定財源(C)	6,091	5,432	6,743	9,679			
	一般財源(D)	17,317	21,280	16,987	14,835			
概算人件費(E)	39,000	39,500	39,500	39,500	39,500			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	62,408	66,212	63,230	64,014	64,014			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	入園者に対して、植物園ならではの資源、知識、技術を活用し、展示や催事を継続的に行う必要性がある。今後、改修後の利活用促進のためにも、植物の魅力発信について更に内容を充実させ、継続的に行う必要がある。	2年度 拡充して実施 3年度 拡充して実施 4年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34102403	事業名称	グリーンセンター施設維持補修費	事業区分	主要な事業 その他
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	園内各施設の補修、修繕を行い、円滑な管理運営、利用者等の安全確保を図ることを目的とする。	安全性、緊急性等を考慮し、園内各施設、設備を計画的に補修、修繕を行う。	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	園内各施設の修繕を実施。また、施設全体の改修を計画的に行うためのグリーンセンター活性化基本計画策定委託を実施。工事では3号温室の改修工事、園芸研修施設内建物解体工事、盆栽棚等撤去工事を実施。	項目	実績
事業の成果 【定性的評価】	園内各施設の修繕や工事を実施し、円滑な管理運営と利用者等の安全を図ることができた。また、グリーンセンター活性化基本計画策定委託を実施することにより、来年度以降の改修計画に係る方向性を検討することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	002細目	02細々目	グリーンセンター施設維持補修費			
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
予算額(A)	19,836	254,523		87,304		16,000		16,000		
決算額(B)=(C)+(D)	18,516	248,656		85,731						
財源※	特定財源(C)	6,059	5,398		4,815		6,670			
	一般財源(D)	12,457	243,258		80,916		9,330			
概算人件費(E)	15,600	15,800		15,800		7,900		7,900		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,116	264,456		101,531		23,900		23,900		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	施設・設備全体の老朽化が著しいため、再整備事業における改修工事を行うと同時に、現状の各施設修繕も必要となってくる。	2年度 縮小して実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34200101	事業名称	農業体験事業	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民の農への理解を促進するため、農業の初心者等で家庭菜園を楽しみたい方を対象に野菜づくりの知識とコツを学ぶ講座を開催する。	・家庭菜園講習会の開催	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	家庭菜園の基礎を学ぶ講義とプランターに秋野菜の種まきを行う講習会	項目	実績 単位
		参加人数	27 人
事業の成果【定性的評価】	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、農ある暮らしの促進に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	004細目	01細々目	農業体験事業	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度	
予算額(A)	40	69		70		72	72	
決算額(B)=(C)+(D)	34	54		61				
財源※	特定財源(C)	10	28		27		30	
	一般財源(D)	24	26		34		42	
概算人件費(E)	2,730	1,580		1,185		1,185	1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.20	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,764	1,634		1,246		1,257	1,257	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	市民の都市農業への理解促進と農ある暮らしを推進するため、参加者のニーズにあった講義内容及び開催場所を検討する。	2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	元年度
--------	-----

事業コード	34200302	事業名称	地域農業活性化事業	事業区分	主要な事業 政策宣言13
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	258-1110(10271)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体等	市民等及び農業関係団体等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援 農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援 農業協同組合が実施する市民農園の新規開設及び運営管理に対する支援 農業関係団体が行うブランド化事業に対する支援 	
元年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	農業関係団体等が実施する事業に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		交付件数	17 件
事業の成果 【定性的評価】	農業関係団体等の活性化及び特産農産物のPRに寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	人	指標の種別	結果		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況	23,373 達成	24,205 達成	22,441 達成		
指標②	名称	市民農園区画数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮
	単位	区画	指標の種別	成果		
	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績値・達成状況	551 未達成	665 達成	724 達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	03細々目	地域農業活性化事業	
年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
予算額(A)	12,236	10,700		18,600	13,500		13,500	
決算額(B)=(C)+(D)	10,204	9,426		16,067				
財源※	特定財源(C)	0		0	0			
	一般財源(D)	10,204		9,426	16,067		13,500	
概算人件費(E)	7,020		5,530		8,295		8,690	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.70	0.00	1.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,224		14,956		24,362		22,190	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	2年度	縮小して実施
		3年度	縮小して実施
		4年度	縮小して実施